

研究課題名	SARS-CoV2 感染無症状・軽症患者におけるウイルス量低減効果の検討を目的としたファビピラビルの多施設非盲検ランダム化臨床試験における胸部画像の解析
研究責任者(職名)	総合診療科 池田 啓浩 (主任部長)
実施責任者(職名)	総合診療科 池田 啓浩 (主任部長)
研究期間	2020年10月 (倫理委員会承認後) ~ 2020 年 10 月 10 日
研究目的と意義	<p>ファビピラビルは富山化学工業株式会社 (現・富士フイルム富山化学株式会社) が創製した抗ウイルス薬のことです。研究において、ファビピラビル介入試験に参加された方の胸部画像と臨床情報、ファビピラビルの効果との相関を探索的に検討します。</p> <p>COVID-19感染症の胸部画像に関する研究は多くなされておりますが、ファビピラビル投与と関連する報告は少なくあります。ファビピラビル介入試験において前向きに収集した臨床データと画像との関連を検討して、薬剤効果予測ができる画像所見が探索的に検討できれば、薬剤投与の判断するうえで有用な情報になりうると考えております。</p> <p>本研究は藤田医科大学の研究チームおよび永寿総合病院がいずれも十分な倫理審査を受け、承認されたものです。ご理解のほど宜しくお願い申し上げます。</p>
研究内容	<ul style="list-style-type: none"> ●対象となる患者さま 当院でCOVID-19に対する診療を受けられた方 ●利用する情報 上記調査対象の患者さまの胸部画像 (単純X線写真やCT画像データ) 臨床情報 (生年月日・性別、生活習慣・嗜好、病歴、身体所見、検査結果、臨床経過等) の情報を収集いたします。
問い合わせ先	<p>【研究担当者】 総合診療科 池田 啓浩 (主任部長)</p>